

め た せ こ い あ

— 前向きな声かけが育む力～ポジティブ行動支援の実践 —

校長 河井 俊彦

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

毎年、新年を迎えると初詣とともに箱根駅伝の観戦が私の恒例行事となっています。今年は、山梨学院大学の10区に郷土・吉賀町出身の田原匠真選手が出場され、新チームの主将にも就任されたと聞き、今後のさらなる活躍を心より祈念しております。



「できたこと」に光を当てる教育へ

箱根駅伝は「輝け大作戦」のもと青山学院大学が総合優勝を果たしました。

青山学院大学の原晋監督は、選手への声かけとして「できていないことよりできたことを認めよう」「失敗は挑戦の証拠だ」といった前向きな言葉を大切にしていることで知られています。

原監督の指導の特徴は、決して甘やかすことではなく、選手一人ひとりの行動や努力の良い点を見逃さず言葉にすることで、自信と成長につなげている点にあります。この姿勢はスポーツに限らず、学校や家庭、地域での教育にも通じるものだと感じています。

本校が大切にしている「ポジティブ行動支援」とは

本校では、学校経営方針の柱の一つに「ポジティブ行動支援」を掲げています。これは、問題行動を叱って減らすのではなく、望ましい行動を具体的に示し、それができたときに認め、励まし、増やしていく考え方です。

例えば、「時間を守れた」「あいさつができた」「最後までやり抜いた」など、日常の小さな良い行動に目を向け、「今の行動、とてもよかったね」「その姿勢がクラスを明るくしているよ」と伝えることを積み重ねています。

その結果、生徒は「認められた行動をもう一度やってみよう」「自分にもできることがある」と感じ、主体的に行動する力を伸ばしています。

ご家庭や地域でもできる、ポジティブな関わり

この考え方は学校だけのものではありません。ご家庭や地域でもすぐに実践いただけます。

▽結果よりも過程や努力に目を向ける。

▽注意するときも、まずできている点を一つ伝える。

▽「どうしてできないの？」ではなく、「どうしたら次はできそう？」と問いかける。

このような関わりは、子どもだけでなく大人同士の関係も温かくします。



地域全体で子どもを育てるために

本校は、地域・家庭・学校が同じ方向を向いて子どもを支えることが、何よりも良い教育環境をつくると考えています。原監督の言葉にもあるように、人は責められて伸びるのではなく、認められてこそ伸びるものです。

これからも本校は、ポジティブ行動支援を通して生徒一人ひとりの可能性を信じ、地域の皆さまとともに前向きな学びと成長を支えてまいります。

1

1・2年生 アントレ校内発表会

12月11日(木)、本校では「アントレプレナーシップ教育(アントレ)」の学びを共有する校内発表会を実施しました。会場では、1年生6チーム、2年生19チームが、これまで取り組んできたプロジェクトの成果を発表しました。生徒たちは、地域を舞台に行ってきた活動を振り返りながら、仮説の立て方や実践の中で感じた課題、思い通りに進まなかった経験から得た学びについて、自分たちの言葉で伝えました。試行錯誤の過程を丁寧に振り返る発表からは、次の一步を見据える姿勢が感じられました。

発表後の意見交換では、学年の枠を越えて質問や感想が飛び交い、多様な視点に触れる時間となりました。聞き手にとっても、新たな発想や刺激を得る機会となり、会場全体が学び合う空間となっていました。



「石見神楽の魅力が吉賀町の子どもたちに伝えたい」



「ひらめきサポート隊」



「犬」



「医療福祉×アート」



「よしかの里」



「WEB上で校内見学」

今回の発表会を通して得た気づきや学びを生かし、生徒たちは今後、それぞれの課題意識をより明確にしながら、各プロジェクトをさらに発展させていく予定です。日頃から活動を温かく見守り、支えてくださっている地域の皆様に深く感謝申し上げますとともに、今後も地域と連携した探究活動を充実させていけるよう、引き続き本校の教育活動へのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

【アントレ活動に関するアンケートのお願い】

こんにちは。吉賀高校の1年生の岩河内愛心です。今回、私がおこなっているアントレの「ドッグバーガー ～吉賀町の食材を使って～」という活動で、犬を飼っている吉賀町の皆さんに飼い犬の食事についてお聞きしたいことがあるので、右のQRコードを読み込んでいただき、アンケートへのご協力をよろしくお願いいたします。



2

アントレプレナーシップ教育成果発表会のご案内

生徒たちが1年間取り組んできた総合的な探究の時間「アントレプレナーシップ教育」の最終成果発表会を開催します。地域でのフィールドワークや実践を通して得た学び、試行錯誤や成長の過程を生徒自身の言葉で発表します。ぜひ、生徒の挑戦の成果をご覧ください。

日時：令和8年2月6日(金) 13:00～

場所：六日市基幹集落センター